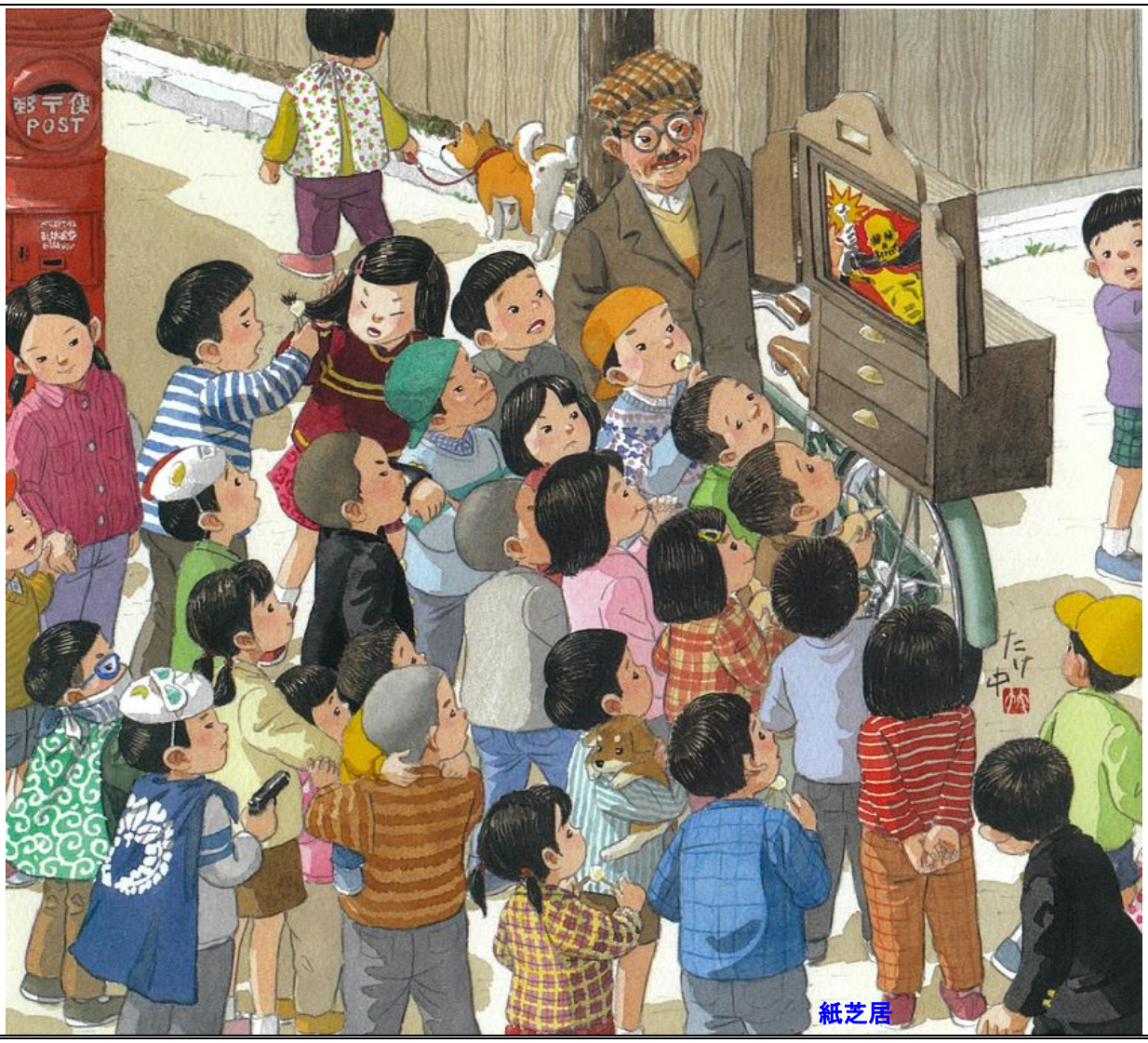

紙芝居

早春のおたより

やわらかな春の日差しがうれしい季節になりましたが、いかがお過ごしでしょうか。３月１日、ほとんどの県立高校で卒業式があり、次女も松山中央高を無事に卒業しました。

５年ぶりの通常規模で実施し、卒業生/在校生/保護者/教職員合わせておよそ 1,500 人が体育館に集い、厳粛かつ感動的な卒業式でした。準備をしていただいた学校関係者の方々には感謝の気持ちでいっぱいです。私もＰＴＡ会長の立場で、祝辞を読ましていただきました。何度も練習し準備万端で臨みましたが、極度の緊張で“カミカミ状態”で終了。残念でなりません。

さて、卒業生の皆さん、中央高校での三年間の生活はいかがでしたか？楽しく、輝いているとき、時間が過ぎ去るのは実に早いものです。しかし時間が経過しても、この中央高校での経験や、培った友情は皆さんの財産として必ず残ります。それを大切にしてください。そしてこれから生きていくうえで、それが一生の宝物と気づく日がきっと訪れることと思います。新しい世界に羽ばたいていく卒業生３３７人の未来に幸あれ！

令和６年３月１日
㈱日本交通社
代表取締役社長 光田秀之